



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
購読料 1カ月5343円+税
電話 東京(03)5777-2351代表
©日刊自動車新聞社2015

7月21日
(火曜日)

新社長インタビュー



「厳しくなっている。従来は我々のようにフロアカーパーが起きている。競争環境をどう見ているか」

目標達成へ海外・新車で収益

の大手サプの3335億円から430億、ライヤーを450億円規模に増える。海を含めグローバルの売り上げが8割に達するバルに広がる」

「伸びるのはどの地域か」

「メキシコを含む北米の売上高が16年度には国内並みの120億円を超える。中国も120億円に増える。需要の増えと20カ国をカバーできる供給体制を整えている。この拠点を増やして、強みである能力を増強した。中国も武漢工場を計画している。武漢ではルノーと東風汽車の合弁会社向けの納入を16年度に始める計画だ。ルノー向けは

「国内の売り上げは現在の120億円から少しずつ減るが、大きく減ることはない。日産に加え、ホンダやダイハツ工業向けが増え続けているためだ。生産能力を関東から九州にたいぶん移したが、国内は年間120万台分くらいの能力がある。これを十分に生かせるよう、製品の競争力を上げていきたい」

システムでの一体開発を推進

開発でのビジネスをすでに国内で受注している」

「16年度に営業利益率10%が目標だ」

「厳しいコストダウン要請に原価低減が追い付かず、12、13年度は単体で営業赤字だった。14年度は新車で利益を上げるとともに、現行車での原価低減によって黒字化した。16年度の営業利益率目標を達成するため、海外で儲けること、新車で収益を上げることが徹底していきたい」

……

つちや・まさひこ 1988年3月名古屋大学教育学部卒、同年4月日産自動車入社。2002年RNPPO北米担当部長。10年ファルテック取締役常務執行役員、12年寿屋フロント常務取締役、14年代表取締役専務、15年4月社長。1959年12月18日生まれ、55歳。

日刊自動車新聞社が記事利用を許諾しています。